



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.165 2017 February

今月の記事

Top News

○大学改革支援・学位授与機構シンポジウムの開催について1

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○新規刊行物のご案内 ― ベトナム高等教育の質保証 プリーフィング資料2

○「キャンパス・アジア」の優れた取り組みを公開3

○米国のCHEA・CIQG2017年次会合に出席4

評価事業

○評価結果（案）の取りまとめ5

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

科目等履修生制度の開設大学一覧

○平成29年度版を当機構ウェブサイトに掲載6

機構の窓

○会議の開催状況7

主要行事日程

○Schedule（2月～4月）8

○大学改革支援・学位授与機構シンポジウムの開催について

平成29年3月10日（金）に、大学改革支援・学位授与機構シンポジウム「大学と社会の対話を通して高等教育の発展を考える」（全3回）の第1回を、下記のとおり開催します。

参加のお申し込みは、専用フォームにて受け付けています。

大学改革支援・学位授与機構シンポジウム

大学と社会の対話を通して 高等教育の発展を考える

平成28年4月1日に、独立行政法人大学評価・学位授与機構と独立行政法人国立大学財務・経営センターは統合し、「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構」となりました。

この機会に、当機構では、今年度からの3年間、「大学と社会の対話を通して高等教育の発展を考える」を統一テーマとするシンポジウムを開催いたします。

第1回目である今回は、グローバル化と地方創生という2つの観点から、大学改革の成果と課題を検討します。

入場無料
事前登録制

第1回テーマ

先導的取組を通して大学改革の成果と課題を考える

ー グローバル化と地方創生の観点から ー

第一部「グローバル化と大学改革」

講演 井原 徹 日産自動車株式会社 人事本部副本部長（日本タレントマネジメント）
横山 研治 立命館アジア太平洋大学 副学長／学校法人立命館 理事補佐

第二部「地方創生と大学改革」

講演 眞鍋 和博 北九州市立大学 地域創生学群学群長／地域共生教育センター長
植木 和宏 特定非営利活動法人タウンモービルネットワーク北九州 理事長
仁科 弘重 愛媛大学 理事・副学長（社会連携・渉外）
宮崎 修 愛媛大学 紙産業イノベーションセンター地域連携・研究支援室長（四国中央市より出向中）

第三部 パネルディスカッション

井原 徹 横山 研治 眞鍋 和博
植木 和宏 仁科 弘重 宮崎 修
井上 睦子 文部科学省 高等教育局大学振興課大学改革推進室長
福田 秀樹 大学改革支援・学位授与機構長
吉武 博通（コーディネーター） 筑波大学 ビジネスサイエンス系教授
／大学改革支援・学位授与機構 研究開発部客員教授

日時 平成29年3月10日（金）
10:00～17:00 受付開始 9:30

場所 一橋講堂
東京都千代田区一ツ橋2-1-2

アクセス ●東京メトロ東西線
「竹橋」駅1B出口 徒歩4分
●東京メトロ半蔵門線 ●都営新宿線・三田線
「神保町」駅A9出口 徒歩4分

申込方法

- ① http://www.niad.ac.jp/n_kenkyukai/
（大学改革支援・学位授与機構トップページ）シンポジウムにアクセス
→ 本シンポジウム名をクリック
※ 右のQRコードからもアクセスできます
- ② ページ下部の「お申込みはこちら」をクリック
- ③ 入力フォームに必要事項を入力して送信
※ お送りいただいた個人情報は、本シンポジウム開催の目的のみに利用します。



国内外の質保証機関等との連携

○「キャンパス・アジア」の優れた取り組みを公開

ダブルディグリーが取得できる修士プログラムの構築や、留学中のインターンシップ機会の提供。これらは、日中韓の大学による学生交流プログラム、「キャンパス・アジア」で見られた優れた事例のほんの一部です。当機構は、中国教育部高等教育教学評価センター(HEEC: Higher Education Evaluation Center of the Ministry of Education)及び韓国大学教育協議会(KCUE: Korean Council for University Education)と共同で「キャンパス・アジア」モニタリングを行い、平成28年10月に報告書“*CAMPUS Asia Pilot Program Joint Monitoring Report*”をまとめました。

「キャンパス・アジア」は、政府間の合意に基いて平成23年より始まった日中韓の大学間交流の枠組みです。国際的な共同教育プログラムを通じて、東アジアのリーダーとなる人材の育成等を目指しています。モニタリングはこのプログラムの質の向上を支援するため、当機構含む日中韓の質保証機関が10の大学コンソーシアムに対して実施しました。「学生支援」や「共同プログラムの付加価値」といった基準ごとに調査をし、各コンソーシアムの優れた取り組みを抽出しました。

平成28年からはコンソーシアム数が17に増えた「キャンパス・アジア」。今後は、日中韓の大学からアジア全体への対象拡大も視野に入れています。本報告書は、これから国際的な共同教育プログラムをはじめようとする大学にとって、参考となる豊富な事例が詰まった一冊です。

“*CAMPUS Asia Pilot Program Joint Monitoring Report*”の内容は[こちらから](#)ご覧ください(PDF、5.3MB、英語)。

「キャンパス・アジア」モニタリングについての紹介は[こちらのサイト](#)をご覧ください。

○米国の CHEA・CIQG2017 年次会合に出席

米国高等教育アクレディテーション協議会（CHEA：Council for Higher Education Accreditation）及び CHEA 国際質グループ（CIQG：CHEA International Quality Group）の年次会合が、平成 29 年 1 月 30 日（月）から 2 月 2 日（木）に米国・ワシントン DC で開催され、当機構から木村顧問、研究開発部登藤助教、斎藤客員准教授含む、6 名の教職員が参加しました。



CHEA 会合セッションの様子

CHEA は、米国国内の機関別および専門アクレディテーション機関を認定し、当該機関の利益を代表する全米規模の民間非営利団体です。今回の年次会合は「Quality Assurance and Accreditation: Moving into the Future」（質保証とアクレディテーション：そして未来へ）をメインテーマとして講演や分科会が行われました。

セッションでは、トランプ政権下における高等教育の展望について紹介があったほか、高等教育機関は、学生及び納税者等に対し、既存のデータを最大限に活用するなどして学生の学習成果を示す責務があり、これまで以上にアカウンタビリティを果たす必要があるなどの主旨の発表がありました。さらに、今後アクレディテーション機関においては、アクレディテーションプロセスの透明性を担保することが重要になる旨の言及がありました。

CIQG は、CHEA が 2012 年 9 月に創設した質保証機関の国際的なグループです。米国内外の質保証機関、大学、個人が会員となり、国際的な高等教育質保証に関する情報交換を主な目的としています。CIQG には、当機構のほか、覚書締結機関であるオーストラリア高等教育質・基準機構（TEQSA: Tertiary Education Quality and Standards Agency）や香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ: Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications）なども加盟しています。

今回の年次会合は、「Quality and Quality Assurance in a Changing World」（変わりゆく世界における質と質保証）をテーマに各セッションが展開されました。

セッションでは、高等教育において学術不正を未然に防ぐための効果的・国際的な実践例についてガイドラインを提供することを目的として、昨年 7 月に CIQG が発表した「学術不正への対処に関する勧告」の経緯について報告がなされたほか、英国・オーストラリア・米国における質保証のリスクベースアプローチの紹介や、ラテンアメリカ、アフリカ、アジア（中国及びインド）における質保証の動向等について発表がなされました。

評価事業

○評価結果（案）の取りまとめ

平成 28 年度の大学及び高等専門学校の認証評価については、7 月から 12 月初旬にかけて行われた書面調査及び訪問調査を基に、それぞれの評価部会において「評価結果（原案）」が作成され、平成 29 年 1 月 13 日（金）開催の大学機関別及び高等専門学校機関別の各認証評価委員会での審議を経て、「評価結果（案）」が取りまとめられました。なお、法科大学院については、本年度の評価に係る申請がなかったことから、認証評価は実施せず、年次報告書等の調査を行っております。

「評価結果（案）」は、その透明性と正確性を確保するため、各対象大学及び高等専門学校に通知されます。また、当該大学及び高等専門学校からの意見の申立ての経過後、各認証評価委員会において「評価結果」が確定されることとなります。

「評価結果」は、当該大学、高等専門学校及び設置者へ通知され、文部科学大臣に報告されるとともに、「平成 28 年度認証評価実施結果報告」として、印刷物の刊行、当機構ウェブサイトへの掲載等により、広く社会に公表されることとなります。

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■科目等履修生制度の開設大学一覧

○平成29年度版を当機構ウェブサイトに掲載

当機構では、科目等履修生として学習することを希望する方々が、大学の学部や大学院研究科を選ぶ際の参考となるよう、国公立大学を対象として科目等履修生制度の開設状況の調査を行い、その結果を取りまとめた上で当機構の[ウェブサイト](#)で公表しています。

なお、原則として平成29年度の開設状況等について掲載するようにしておりますが、調査の時点で平成29年度の計画が未定の場合には、平成28年度の実績を掲載しています。

機構の窓

○会議の開催状況

・大学機関別認証評価委員会

第3回 平成29年1月13日（金） 14：00～17：00

議事

- 1 評価結果（案）について
- 2 平成29年度 部会の編成について
- 3 大学機関別認証評価実施大綱（平成30年度実施分）等について
- 4 その他

・高等専門学校機関別認証評価委員会

第3回 平成29年1月13日（金） 10：00～13：00

議事

- 1 評価結果（案）について
- 2 平成29年度 評価部会及び専門部会の体制等について
- 3 高等専門学校機関別認証評価実施大綱（案）及び高等専門学校評価基準（機関別認証評価）（案）について
- 4 その他

・法科大学院認証評価委員会

第2回 平成28年12月22日（木） 15：30～17：00

議事

- 1 教育課程、教員組織、その他法科大学院の教育活動全般に係る重要な変更又は状況の変化及び対応状況報告書の調査結果に対する評価結果に関する付記事項等について
- 2 平成29年度評価部会等の編成について
- 3 その他

主要行事日程

○ Schedule

2月

日	行事名	担当課
15日	学位審査会（平成28年度第4回）	学位審査課
24日	学位記伝達式・講評	学位審査課
27日	大学ポートレート運営会議（第6回）	大学ポートレート センター事務室

3月

日	行事名	担当課
6日	法科大学院認証評価委員会（第3回）	評価支援課
8日	大学機関別認証評価委員会（第4回）	評価支援課
10日	平成28年度大学改革支援・学位授与機構シンポジウム	総務企画課
10日	学位審査会（平成28年度第5回）	学位審査課
13日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第4回）	評価支援課
14日～ 4月6日	平成29年度4月期学位授与電子申請受付期間	学位審査課

4月

日	行事名	担当課
1日～7日	平成29年度4月期学位授与郵送申請受付期間	学位審査課

